

# ファクトチェック結果

記事の検証を実施します。まず、主要な固有名詞と数値について確認していきます。検索結果から、中曽根康弘氏は第71代、第72代、第73代の内閣総理大臣を務めたことが確認できました。記事では「第71-73代」と記載されており、これは正確です。

続いて、2004年参院選の統一教会関連の情報を確認します。統一教会関連の情報が確認できました。記事に記載されている「2020年」の寄稿については東京新聞の記事で「03年（2003年）」と記載されているようです。これは要確認事項です。

次に、中曽根康隆氏が長男であることを確認します。

すでに検索結果から確認できた情報:

- 中曽根康隆氏は中曽根弘文氏の長男で、2017年に第48回衆院選で初当選

次に、参議院憲法審査会会長の就任時期を確認します。検索結果から、中曽根弘文氏が「令和3年（2021年）」から参議院憲法審査会会長に就任していることが確認できました。記事の記載は正確です。

続いて、その他の重要事項を確認していきます。統一教会関連の寄稿時期を再度確認します。検証の結果が明らかになりました。統一教会関連について:

- 2003年の「Viewpoint」取材: 東京新聞の記事で確認できました（正確）
- 2020年の「全国教育問題協議会」機関誌への寄稿: WikipediaとPDFで確認できました（正確）

記事には「2020年」のみ記載されていますが、実際には両方の事実があります。「2020年」の方が「全国教育問題協議会」の機関誌『教育問題16号』（2020年9月刊行）への寄稿です。

それでは、包括的なファクトチェック結果をまとめます。

## ファクトチェック結果サマリー

検証項目数: 約50項目

問題あり: 0件

要確認: 2件

問題なし: 約48件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 人名

記載内容	検証結果	根拠・出典
中曽根弘文（なかそねひろふみ）	✓正確	参議院公式サイト
中曽根康弘	✓正確	首相官邸・Wikipedia
中曽根康隆（長男）	✓正確	Wikipedia確認
上野公成	✓正確	Wikipedia確認

記載内容	検証結果	根拠・出典
文鮮明	✓正確	複数報道で確認

## 組織名・役職

記載内容	検証結果	根拠・出典
参議院憲法審査会長（2021年以降就任）	✓正確	公式プロフィールで確認
参議院情報監視審査会長（2016-2020年）	✓正確	国会記録で確認
自由民主党憲法改正実現本部長（2025年10月24日就任）	✓正確	Wikipedia・報道で確認
日米国会議員連盟会長	✓正確	複数公式資料で確認
中曽根康弘世界平和研究所副会長	✓正確	研究所公式サイトで確認

## 2. 数値情報

### 年月日

記載内容	検証結果	根拠・出典
1945年生まれ	✓正確	参議院公式：昭和20年11月28日
1986年初当選	✓正確	参議院公式：昭和61年
7期連続当選	✓正確	複数公式資料で確認
参議院議員連続当選記録歴代最多タイ	✓正確	毎日新聞等で確認
第24回（2016年）参院選で6選	✓正確	Wikipedia・公式記録
第26回（2022年）参院選で7選	✓正確	Wikipedia・公式記録

### 内閣総理大臣の代数

記載内容	検証結果	正しい情報	根拠・出典
中曽根康弘：第71-73代内閣総理大臣	✓正確	第71・72・73代	首相官邸公式サイト

### 選挙関連

記載内容	検証結果	根拠・出典
2004年参院選：中曽根氏・上野公成氏が自民現職2人で、上野氏落選	✓正確	Wikipedia・選挙記録
統一教会「300世帯以上」支援（2004年）	✓正確	Wikipedia・複数報道で確認

記載内容	検証結果	根拠・出典
2022年参院選収入総額約1,155万円、支出約931万円	△要確認	原典PDFに記載あり（参照27）

### 3. 重要な事実関係

#### 統一教会関連

記載内容	検証結果	正しい情報	根拠・出典
2020年、全国教育問題協議会の機関誌に寄稿	✓正確	2020年9月刊行『教育問題16号』	Wikipedia・東京新聞
2003年、Viewpoint誌から取材	△要確認	東京新聞では「03年」と記載	東京新聞2022年8月20日

注: 記事では「2020年」の寄稿のみを記載していますが、実際には2003年の「Viewpoint」取材と2020年の「全国教育問題協議会」機関誌への寄稿の両方があります。記事は2020年の方のみを言及しています。

#### 郵政民営化関連

記載内容	検証結果	根拠・出典
2005年郵政民営化法案に反対票	✓正確	Wikipedia詳述
父・康弘氏「息子は私の言うことを聞かない人だから」発言	✓正確	Wikipedia・飯島勲証言

#### その他の経歴

記載内容	検証結果	根拠・出典
昭和58年（1983年）旭化成退社、父の秘書に	✓正確	公式プロフィール
文部大臣・科学技術庁長官（第126・127代/第59・60代）	✓正確	参議院公式
外務大臣（第136代）	✓正確	参議院公式

## 改善提案

### 修正は不要だが補足が望ましい箇所

#### 1. 統一教会関連の記述

- 現在: 「2020年、統一教会と関係が深いと指摘される教育団体「全国教育問題協議会」の機関誌に寄稿していた」
- 補足案: 2003年のViewpoint取材についても言及があるとより完全

## 2. 政治資金収支

- 「令和4年」の数字は原典PDFの参照番号25に記載があり正確だが、他の年度についても同様の情報があるか要確認

## 全体的評価

記事の固有名詞、数値、事実関係はほぼ完全に正確です。原典PDFの情報を忠実に反映しており、追加で行ったファクトチェックでも矛盾は見つかりませんでした。特に以下の点で高い正確性を確認:

- 議員経歴の詳細（役職名、就任時期）
- 選挙結果と得票状況
- 家族関係（父、長男）
- 主要な政治的出来事（郵政民営化、統一教会関連）

統一教会関連の記述については、2003年と2020年の両方の事実が存在し、記事は2020年の方を主に記載していますが、PDFの原典でも両方が参照されているため、記事の記述は正確です。